

2025年ビジョン

第一三共は2025年ビジョン「がんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業」を掲げ、2025年に、がん事業を中心とするスペシャルティ領域が中核事業となっており、各国市場に適合したリージョナルバリュー製品を持ち、SOCを変革する先進的な製品・パイプラインが充実し、同時に効率的な経営による高い株主価値を実現した姿を目指しています。

2025年ビジョン

「がんに強みを持つ 先進的グローバル創薬企業」

- がん事業を中心とする
スペシャルティ領域^{*1}での事業が中核
- 各国市場に適合した
リージョナルバリュー製品^{*2}が豊富
- SOC^{*3}を変革する先進的な
製品・パイプラインが充実
- 効率的な経営による高い株主価値

*1 病院・専門医で主に処方される医薬品
*2 各国・各地域の事業戦略に適合した製品
*3 Standard of Careの略。現在の医学では最善とされ、
広く用いられている治療法

第4期中期経営計画

2025年に向けた

転換

Transformation

2015年以前

- 循環器事業
- PCP*領域中心
- グローバル製品
- 自前主義
- 売上規模

* 一般開業医で主に処方
される医薬品

なぜ「がん」なのか？

近年、がん免疫や細胞治療などの新たな治療薬、治療法が生まれてきましたが、がんの克服にはまだまだ遠く、未だアンメットメディカルニーズの高い領域で、さらに効果の高い、安全性の高い薬剤、治療法が望まれています。そのような中、2019年度は、統合後初めてのオンコロジー製品の上市を見込み、自社開発品のDS-8201を筆頭に多くの有望な薬剤が生まれつつあり、がんをコア事業として確立できると考えています。

当社グループは、2025年ビジョン「がんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業」に着実に前進しています。